

～古賀院長エッセイ～

次代への風



「来年の目標に向けて」

11月に入り、今年も余すところ2ヶ月となり、来年の準備に取り掛かる時期になりました。酒蔵では10月に収穫した新米から新酒を造り始める月でもあり、翌年が既に始まっています。

さて、自分はどうするか。今年の実省とともに、来年の目標に向けて仕込みを始めなければ、また悔いの残る年になりかねません。

「They help those who help themselves」：イギリスのサミュエル・スマイルズ（医師、作家）が、自助論（1859年）の中で記したことを、「天は自ら助くるものを助く」という訳で、明治の初めに、福沢諭吉が人生の指南書「学問のすすめ」の中で論じた言葉があります。病気や怪我も様々な人生の出来事の一部です。自らの養生や工夫が良い結果を生むことに繋がります。

私自身の脳神経の管理の体験も交えて、アドバイスができるように、来年も取り組んでいきます。



院長語録

毎朝の朝礼での一訓をご紹介します。

*クラシカルでも現代において重用されているものには、
洗練されたスマートさがある
本質は時代を超え同じである

*規則や法則も時と場合によっては変わりうる
それに対応していく為に豊富な経験が必要となる